

人工体液中における骨接合用品の曲げ試験

人工体液中で、骨プレートの耐久性を評価します。

測定技術の概要

水中または人工体液中で、骨接合用品の4点曲げまたは3点曲げの耐久性を評価します。試験冶具や条件は、 大気中における骨接合用品の試験規格であるJIS T 0312またはASTM F382を参考とし、37℃に保持した人工体液中で試験を実施いたします。

【試験概要】

試験環境	37±2℃、液中(蒸留水または人工体液中)
試験方法	曲げ疲労試験(3点曲げまたは4点曲げ)
最大荷重	10kN
最大繰返し周波数	2Hz *
試験片タイプ	骨プレート、CHS (compression hip screw)、ネジ、ラグスクリュー

^{*} その他の試験周波数は、ご相談ください。

髄内釘の曲げ疲労強度測定例

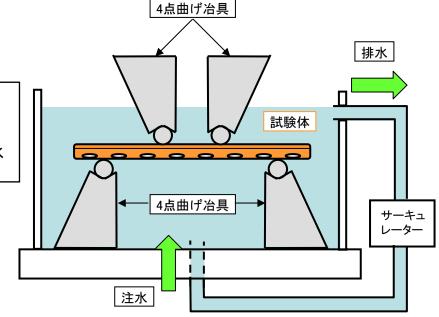
【試験例】

繰返し周波数:1Hz

荷重比 : 0.1

試験環境 : リン酸緩衝生理食塩水

37°C



疲労試験概略図



JFE テクノリサーチ 株式会社

Copyright ©2013 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved. 本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。

http://www.jfe-tec.co.jp

0120-643-777